

(一社) 日本労働安全衛生コンサルタント会

2024年10月1日



神奈川支部

〒231-0026 横浜市中区寿町1-4

支部ニュース

かながわ労働プラザ 7F

Tel・Fax 045-633-3618

日本労働安全衛生コンサルタント会は、

発行責任者

労働者の安全衛生水準の向上に寄与することを目的にしています。

赤松 由通

目次	○ 支部定期総会 P1	○ 総務委員会報告 P5	○ 事業部会報告 P7	○ 研修委員会報告 P8
	○ 地区リーダー紹介 P9	○ 新入部会員紹介 P11	○ 溶接研修報告 P11	○ 会長賞受賞報告 P12

【令和6年度神奈川支部定期総会ワークピア横浜で開催】

支部定期総会開催報告

神奈川支部定期総会が、令和6年6月14日(金)午後、「ワークピア横浜」で開催されました。開催に先立ち、森事務局長より、支部規定第8条第5項(正会員の3分の1以上で成立)に対して、会場参加者43名、委任状40名、議決権行使37名の合計120名で、正会員176名の3分の1(59名)以上となり、総会が成立したことが報告されました。総会は、内沼常任幹事の司会で始まり、吉久支部長の挨拶、来賓紹介、来賓の祝辞に引き続いて審議に入りました。

【吉久支部長の挨拶】

ご来賓の方をお迎えしての総会は5年ぶりになります。2020年に支部長になり、コロナ禍の間は、総会も開催できず、3年近く顔を合わせる機会が無く、この間仕事が出来なくて今までの貯えを食いつぶすのではないかと心配しましたが、皆様のご協力により、この4年間無事に業務を遂行できましたので感謝したいと思います。今年度の総会では、新しい役員を選出という節目に当たっていますので、よろしくご審議の程をお願いいたします。

《ご来賓の皆様、写真右より》



神奈川労働局 労働基準部長 池内 伸好様

神奈川労働局 安全課長 塚田 和男様

神奈川労働局 健康課長 畑野 俊様

神奈川産業保健総合支援センター副所長

高橋 明裕様

日本産業環境測定協会 神奈川支部事務局長

芦田 敏文様

日本労働安全衛生コンサルタント会

東京支部長 塩家 護様(情報交換会より、参加)

【来賓者 神奈川労働局労働基準部長 池内 伸好様】



第14次防がスタートし、本年は2年目となります。転倒、腰痛など行動災害に起因する労働災害、高齢労働者や外国人労働者の労働災害、業種別の労働災害、健康確保対策、化学物質等による健康障害防止対策などについて、事業による取組状況等に関する「アウトプット指標」と、取り組みにより期待される結果に関する「アウトカム指標」を定め、死亡災害を減少させるという取り組みを行っています。特に「アウトプット指標」として事業者の取り組み状況を、継続して確認をさせていただきながら計画を推進していくことは、きめ細やかな指導と取り組みの継続に繋がるものと考えています。会員の皆様方には、専門家の立場から、労働災害の増加という厳しい状況に鑑みまして、引き続き事業場などへの労働災害防止にかかる活発な安全衛生コンサルティング活動をお願いします。

さらに近年、フリーランスによる働き方が普及している一方で、様々な問題が生じています。本年11月施行のフリーランス法の内容についても、周知啓発を行うとともに、フリーランスや個人事業者からの相談にも積極的に対応して、安全環境の着実な実行を推進するなど、行政の良きパートナーとしてコンサルタント会の皆様方をはじめ、各労働災害防止団体等との連携を図り、引き続き死亡災害の撲滅にむけ、取り組みを強化することを事業者に働きかけていきます。

【来賓者 神奈川産業保健総合支援センター 副所長 高橋 明裕様】



新型コロナウイルス感染症により、4年ぶりの開催ということですが、何事もなく、本年度の定期総会開催に至ったことに、お祝い申し上げます。神奈川支部の活動については、事業場の安全衛生管理指導や、意識向上において成果が出ていると感じています。また、当センターにおいても、相談員としてご活躍されている先生方のご尽力のおかげで、産業保健総合支援センターの研修講師また事業場などからの相談対応をお願いしています。

【定期総会審議概要】

第一号議案(令和5年度事業報告に関する件)及び第二号議案(令和5年度収支決算に関する件)の審議が行われ、参加者全員の挙手、議決権行使者全員の賛成により承認されました。

次に(令和6年度事業計画に関する件)と(令和6年度収支予算に関する件)の基本方針として、①コロナ禍以前の対面での活動を基本とした支部活動の活性化、②事業部会は48名在籍して高齢化が進んでいるため、若手への支部運営の引継、③来年度は神奈川支部が創立50周年の節目の年になるため、記念行事等の準備、④第14次防は2年目を迎え、コンサルタントの活用が謳われており、行政とのタイアップ、⑤化学物質の自主的管理やテールゲートリフターの特別教育等、法の改正趣旨を理解した活動等の必要性等が報告されました。

森事務局長より、令和6年度支部収支予算の件が報告され、異議はありませんでした。

【総会の主な質疑】

総会全体の報告、説明に関して、次の質疑並びに回答が行われました。

<p>〔質問 1〕 第 14 次防に関して、コンサルタント会の具体的な取組みと、50 周年事業に関する、記念誌以外の構想を聞かせて頂きたい。 (矢島会員)</p> <p>〔回答 1〕 第 14 次防の取り組みは、7月 10 日開催予定の行政との業務連絡会で働きかけてコンサルタント会の活動に賛同してもらえるように努力します。50 周年記念としては、活動の歴史等を集めて冊子を作成し、関係者に配布することと、来年秋に 50 周年記念式典を開催したい。 (赤松副支部長)</p> <p>〔質問 2〕 新規事業開拓では、「チームを組織として、受注の拡大を目指した活動」とありますが、例えば、化局研究会のイメージと考えてよろしいですか。 (樋口会員)</p>	<p>〔回答 2〕 支部の中には「労働衛生研究会」と昨年5月に発足した「化局研究会」があります。「化局研究会」は、化学物質管理専門家や作業環境管理専門家の資格を持っている会員の誰が行っても同じレベルで対処できるようにということで発足しました。それを拡大して、資格がなくても、化学物質のリスクアセスメントの指導やリスク低減ができるように参加枠を拡大し、一緒になって月 1 回の勉強会や研修会を開催しています。(藤原副支部長)</p> <p>〔質問 3〕 支部収支予算書の交付金の南関東ブロック会議の手当てが、1万円から5万円になっていますが、4万円のプラスで南関東ブロック会議のパーティーの開催は可能ですか。</p> <p>〔回答 3〕 南関東ブロック会議の手当については、本部から交付されています。令和6年度の支部収支予算に記載しましたが、ブロック会議の会場は、費用が比較的安価な会場を借りる予定です。 (吉久支部長)</p>
--	--

【令和6・7 年度役員に関する件】

吉久支部長より、第三号議案の役員名簿(案)が提示され、挙手で全員賛成が確認されました。その後、別室で令和6年度第 1 回幹事会が開催され、赤松新支部長が選出され、令和 6・7 年度役員名簿が発表されました。(P-4 に役員名簿を掲載)

【赤松新支部長挨拶】

振り返れば、中村先生、森山先生、吉久先生と 10 年経過しており、10 年後の令和6・7年度を赤松が支部長として頑張っていきますので、皆様方のご協力をお願いします。支部創設 50 周年記念や南関東ブロック会議を神奈川支部が主催して、東京支部、埼玉支部、千葉支部、本部を招いて開催します。その際には神奈川労働局の皆様方にも、お世話になります。また、支部会員の皆様方の支援や協力がなければ成功しません。神奈川支部の支部長という役職を、皆様の協力を得て進めていく所存です。



<p>【令和6・7年度 神奈川支部役員】</p> <p>支部長 <u>赤松 由通</u> (安全・土木)</p> <p>副支部長 藤原 政志 (衛生・工学) 竹内 春樹 (安全・機械) <u>田村 紀裕</u> (安全・化学,衛生・工学)</p> <p>常任幹事 矢崎 麻純 (衛生・保健) 内沼 創一朗 (安全・電気) 大塚 重男 (安全・土木) 菊西 延至 (安全・建築) <u>亀ヶ谷 勲</u> (安全・土木)</p>	<p>幹 事 <u>青島 邦彦</u> (安全・建築) 大谷 忠治 (安全・土木) <u>黒川 孝</u> (安全・機械,衛生・工学) 櫻澤 博文 (衛生・保健) <u>高橋 宏行</u> (安全・機械) 田中 敏夫 (安全・土木) 久富 美紀子 (衛生・保健) 水上 隆男 (安全・土木) <u>村上 稔</u> (衛生・保健) 山下 和雄 (安全・土木) <u>吉久 功三</u> (安全・電気)</p> <p>支部監事 秋谷 泰男 (安全・化学,衛生・工学) 前山 勝己 (安全・土木)</p> <p>相 談 役 森山 哲 (安全・電気) (下線は新任の役員)</p>
--	---

総会開催前の特別講演会

令和6年6月14日(金)恒例となっておりました神奈川労働局による特別講演が、定期総会に先駆け開催されました。講師は、神奈川労働局労働基準部安全課長の塚田和男様ならびに健康課長の畑野俊様のお二人にお願い致しました。

【吉久支部長特別講演会の開会あいさつ】

公務多忙の中、神奈川労働局安全課塚田和男様、健康課畑野俊様に今年度の重点施策についてご講演をいただきます。昨年4月から第14次労働災害防止計画がスタートしていますが、休業4日以上の死傷災害が減っていません。14次労働災害防止計画の中には災害防止のために我々コンサルタントの活用が謳われています。本日は両課長様の重点施策をお伺いして災害防止に少しでも役立てるようしていただければと思います。



吉久支部長

【神奈川労働局 特別講演】

最初に安全課長の塚田様より「令和6年度重点施策(安全関係)」と題して、労働災害発生状況、14次防神奈川計画、令和5年度以降に改正された安全課所管の主要法令等について講演を頂きました。

次に、健康課長畑野俊様からは、「令和6年度重点施策(衛生関係)」と題して、令和6年度の労働衛生行政のあらまし、新たな化学物質規制の導入、治療と仕事の両立支援ガイドライン、熱中症対策等について講演を頂きました。



安全課長 塚田 和男様



健康課長 畑野 俊様

情報交換会の開催

【情報交換会】

支部総会と同じフロアの会場で、田村新副支部長の司会で情報交換会が開催されました。赤松新支部長の開会挨拶に始まり、労働基準部長 池内伸好様をはじめご来賓の皆様よりお言葉を頂き、吉久前支部長他令和5年度に活躍された皆様からお話を伺って労をねぎらいました。各テーブルでもそれぞれが会場内を移動しながら、久しぶりに会場参加をされた皆様に囲みながら情報交換に花が咲き、竹内副支部長様の挨拶で中締めとなりました。

それでも話題は尽きず、神奈川支部のメンバーで会場を麵王翔記に移して、情報交換会 Part IIを開催し、抱負を語り合いました。



【総務委員会報告】

《副支部長・総務委員長 藤原政志》

赤松支部長からの指名を受け、令和6年度及び7年度の総務委員会の委員長を務めることになりました藤原政志と申します。総務委員会は、副委員長の大塚重男常任幹事、メンバーに内沼創一朗常任幹事、菊西延至常任幹事、田中敏夫幹事、黒川孝幹事、樋口学支部会員の6名体制で「総務委員会規程」に基づき、以下の活動を主に行います。

- ①規程等の管理に関すること。
- ②広報に関すること。（支部ニュース、外部への寄稿等）
- ③支部ホームページの運営に関すること。
- ④渉外に関すること。
- ⑤関係団体連絡会議の参加運営に関すること。
- ⑥事務局運営に関すること。
- ⑦その他、と規定されています。

1. 令和5年度の活動結果

年間計画に基づき、関係団体連絡会議への出席、年2回の事業部会員名簿の更新及び支部ニュースの発行は各担当が予定通り実施しました。特筆する点としては、事務局で使用しているPCのIT環境の整備と詐欺メール等の情報セキュリティ対応があります。毎日のように送信されてくる迷惑メール対策とデータのクラウド

ド化を内沼委員には手弁当で対応してもらいました。

2. 令和6年度の主な活動計画

主な活動としては、前年度と同様に推進します。その中でも若い支部会員を各種活動に誘い、支部活動の活性化を進めたいと考えております。

①支部役員

現行の「支部規程」では、役員が資格要件が、支部会員になって3年経過した者となっております。この資格要件を1年に改正するように決定機関の幹事会に提案しています。(幹事会は、9月7日に開催されます。本支部ニュースが発行される頃は、提案内容で改正されると考えています。)

②地区別担当者

県内12の労働基準監督署を川崎地区、横浜地区、県央地区、湘南地区の4つのブロックに分けて、主担当を決めて既に構築し運用している労働基準監督署との適切な関係の継続を図っています。

③関係団体連絡会議

現在、横浜北署、藤沢署、平塚署、厚木署、川崎南署の5つの労働基準監督署管内の各種団体と四半期ごとに開催される連絡会議に担当者を選任し、関係団体と交流しています。

④南関東ブロック会議

南関東ブロック会議は、東京支部、埼玉支部、千葉支部、神奈川支部が参加し、本部はオブザーバーとして、毎年開催して支部相互の情報交換及び事業の実施に関する検討することを目的としています。今年度は、神奈川支部が幹事支部として、10月25日に開催する会議の準備を行っています。

⑤定例会議(常任幹事会、幹事会)

今年度もかながわ労働プラザにて対面で行います。今年度の日程は、常任幹事会、幹事会において承認されました。令和6年度の常任幹事会、幹事会、研修会の日程を表-1に示します。

表-1 令和6年度 常任幹事会、幹事会、研修会日程

年 月 日	常任幹事会	幹事会	研修会
令和6年 6月14日(金)		第1回幹事会	
7月20日(土)	第1回常任幹事会		
7月27日(土)		第2回幹事会	
9月7日(土)	第2回常任幹事会	第3回幹事会	第1回研修会
10月12日(土)	第3回常任幹事会		第2回研修会
12月7日(土)	第4回常任幹事会		第3回研修会
令和7年 1月11日(土)	第5回常任幹事会	第4回幹事会	第4回研修会
3月8日(土)	第6回常任幹事会		第5回研修会
4月12日(土)	第7回常任幹事会	第5回幹事会	第6回研修会
6月13日(金)	令和7年度 支部定期総会		

【事業部会報告】

《副支部長・事業部会長 竹内 春樹》

2024年度、2025年度の副支部長で事業部会長の職務を務めることになりました竹内春樹と申します。今後、前事業部会長、役員である先輩先生方等にご指導いただきながら活動してまいりますので、どうかよろしくをお願いいたします。はじめに、今後2年間の事業部会メンバーを紹介いたします。副部会長に大塚重男常任幹事、メンバーとして久富美紀子幹事、大谷忠治幹事及び加藤孝夫氏の計5名体制で「事業部会運営要領」に則り活動を推進していきますので、併せてよろしくお願い申し上げます。

《事業部会会員》

事業部会会員は、昨年労働安全コンサルタント1名の入部があり、労働安全コンサルタント36名、労働衛生コンサルタント12名(内共有4名)の計44名で活動しています。

《2024年度の基本方針》

受注事業関係では、若い方にもより多くの経験を積んでいただくため、公募案件等で若い方々にも積極的に参加していただきたいと考えております。そのため事業部ではその機会を広げるため、依頼者からの引き合い段階から依頼者に対し出来る限り複数名でのコンサルタントでの対応を認めてもらうようにしていきます。

また、依頼者からの問い合わせ、依頼があった場合は、速やかにその依頼者事業場に出向き直接要件を伺い御要望事項を的確に把握した上で、適任者選出のための公募をしたいと思っております。なお、今年度は新たな化学物質規制に関する問い合わせ、依頼が多くなると思っておりますが、化学物質以外の問い合わせで依頼者事業場を訪問する際に、化学物質規制への取り組みを何うなどして事業部での受注拡大を図りたいと考えています。

《事業活動の内容》

事業活動で昨年度の公募案件は24件、指名公募は3件ありました。(指名公募は、依頼者からの問い合わせ・依頼に対し、力動的及び納期的観点から対応可能なコンサルタントが限られている場合で、事業部会長が対応できるコンサルタントを指名し、依頼者対応をしてもらうものです。)

昨年度の公募の業種、依頼内容は表-2のとおりです。

表-2 昨年度の公募内容

	No	依頼の業種等	依頼内容	件数
公 募	1	ディスプレイ製造業	研究者に対する安全衛生教育	13
		自動車製造業	安全診断	
		ドラム缶製造業	職場環境改善の提案	
		工作機械製造業	職場環境改善の提案	
		機械器具製造業	職場環境改善の提案	
		電気器具製造業	安全衛生診断と改善提案	
	2	行政機関	受動喫煙防止、災害防止の講演等	4
	3	ISO認証機関	化学物質管理者の作業確認	1
	4	運送業	実務実施者の作業確認	1
	5	クリーニング業	安全衛生診断と改善提案	1
	6	建設業災害防止協会	コスモス評価者の養成	1
	7	研修機関	化学物質管理者の作業確認	1
	8	建設業	危険物の取扱い研修	1
9	コンサルタント業	化学物質管理に関する訪問支援	1	
合 計				24
指 名 公 募	1	電気器具製造業	建築物に関する現状確認と指導	1
	2	自動車製造業	KYT進め方指導	1
	3	自動車製造業	安全講話	1
合 計				3

【研修委員会報告】

《副支部長・研修委員長 田村 紀裕》

2024年度(令和6年度)から研修委員長を務めることとなりました田村紀裕です。研修委員会メンバーもすべて新たなメンバーを選出しました。副委員長に亀ヶ谷勲常任幹事、メンバーとして水上隆男幹事、矢島聡会員の4名体制で「研修委員会規程」等に沿って活動を推進してまいります。

コロナ禍もようやく平常に戻りつつあり、研修会の開催形式を含め従来の活動にできるだけ戻すように工夫をすると共に新たなメンバーによる刷新も図っていききたい所存です。

①支部研修会

1)2023年度(令和5年度)の支部研修会活動結果

研修委員会の主な活動である研修会はコロナ禍の影響により前年度と同様に「かながわ労働プラザ」での対面とオンラインの併用形式で6回実施しました。各回の構成は、新入事業部会員の紹介と研修2テーマとし、支部会員の参考になるよう、関係法令改正、新たな化学物質管理、第14次労働災害防止計画や労働安全・衛生コンサルタントの活動するための講演等を企画し内外の講師のご協力を得て実施しました。研修会には30～45名の方々が受講され、質疑も多く大変活況でした。

また研修会後の情報交換会も継続することができ、当日の講師も交えて、多数の参加者を得ることができました。非常に有効な時間を共有できたものと考えております。

2)2024年度(令和6年度)の支部研修会計画

今年度の支部研修会は、コロナ禍を脱したこともあり、2024年度計画でも承認されましたので、すべて対面形式として開催する事としております。開催日程は、支部常任幹事会や支部幹事会の日程に合わせ、全6回開催で計画しています。各回の構成は、新入事業部会員の紹介、労働安全・衛生コンサルタントとして活動するために役立つ講演、また化学物質管理や保護具関連等の旬なテーマを企画・提供していきたいと考えております。研修委員会メンバーが刷新されたことにより、新たな視点や進め方なども盛り込みながら、会員の皆様の活動の一助になるよう努力してまいります。

なお、研修会参加費用は、対面形式のみで、3,000円とします。また研修会後の情報交換会も実施します。多くの会員の方々の参加を期待すると共に、研修会のテーマなどをご教示いただけると幸いです。支部研修会開催予定は、表-1(P-6)に掲載しております。

②新入支部会員への支部ガイダンス

2023年度は9月30日に、神奈川支部に新たに入会された16名を対象に、支部および事業部会の活動状況についてガイダンスを実施し、支部活動の情報提供を行いました。(当日参加者は12名)

2024年度も9月21日に、神奈川支部に新たに入会された10名(2024年8月8日時点)の方々を対象に、支部ガイダンスを実施する予定です。

③新入事業部会員教育

昨年度は、2023年11月18日に新入事業部会員1名(労働安全コンサルタント)に対して、コンサルタント業務に関する教育研修を実施しました。

2024年度も、新入事業部会員1名(2024年8月時点)に対して、教育研修を実施する予定ですが、前述新入支部会員向け支部ガイダンス等の機会を捉え事業部会員への入会を勧め、11月以降(未定)で計画を進めています。

④施設見学会

昨年度はコロナ禍の影響を考慮して、残念ながら中止となりました。2024年度はコロナの影響を見定めて、見学受け入れ先の動向を勘案し、実施に向けて準備を進めていきたいと考えております。

⑤研究会活動

現在、研究会活動を実施しているのは、「労働衛生研究会」と前年度に発足した「化局(化学物質・局所排気装置)研究会」です。いずれも専門知識の研鑽と相互協力により大変熱心な活動を展開しています。新たな研究会活動のご提案もお待ちしております。

支部会員の皆様におかれましては、今後聞きたい研修テーマや見学したい施設等ございましたら、有益な情報と共に研修委員会にご連絡くださるようお願いいたします。

【地区巡回活動の各地区リーダーの紹介】

新企画として、地域巡回活動の各地区リーダーに就任された皆様に抱負を語っていただきます。

【川崎地区】

水上リーダーから引き継ぎました加藤でございます。コンサルタント会に入会して間もないため、皆様からご指導やご支援をいただくことが多々あるかと思いますが、寺山サブリーダーともどもよろしくお願い申し上げます。川崎地区は、鶴見労働基準監督署(横浜市鶴見区)、川崎南労働基準監督署(川崎市川崎区、幸区)、川崎北労働基準監督署(川崎市中原区、宮前区、高津区、多摩区、麻生区)の3労働基準監督署を中心に神奈川県労働安全衛生協会各支部の皆様と連携を図りながら、労働安全衛生コンサルタント活動の推進に努めてまいります。



鶴見労働基準監督署管内と川崎南労働基準監督署管内は、京浜工業地帯の中心部に位置し、私がかつて勤務していた会社の事業所がいくつもあり、新入社員研修などで訪れた懐かしい場所でもあります。川崎北労働基準監督署管内は、製造業やIT産業が発展するとともに、北部の住宅地に関連したサービス業が発展し、商業や物流、教育・研究などの産業がさらに多様化した地域となっています。私自身もかつて麻生区に居住しており、子供たちが小学校時代を過ごした思い出深い場所です。

このたびご縁あり、川崎地区を担当させていただくこととなりました。現在は横浜市内に在住しておりますが、川崎地区各地に多くの思い出があり、これも何かの縁と感じております。コンサルタント会神奈川支部と地域の皆様との結びつきを深め、安全で健康な職場づくりに貢献できるよう、微力ながら尽力してまいります。皆様のご指導、ご支援を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

【横浜地区】

このたび、横浜地区リーダーを拝命しました亀ヶ谷です。よろしくお願い致します。横浜地区は、サブリーダーに菊西先生、メンバーに出縄・大塚・黒川・小林・田中・山下・前山・森山・吉久先生の11名で構成しています。労働基準監督署は、横浜南・横浜北・横浜西の3署となります。具体的な活動は、次のとおりです。



①横浜北労働基準監督署における労働基準関係団体連絡会議への参加による情報発信及び労働基準監督署他関係団体からの情報収集(年4回)

②公益社団法人神奈川労働安全衛生協会横浜南支部・横浜北支部・横浜西

支部主催の6月全国安全週間推進大会及び9月全国労働衛生週間推進大会への参加及び無料相談コーナーの開設

③年始及び人事異動時期の挨拶

④安全及び衛生管理特別指導事業場に関する情報の入手等

先輩方が築き上げて頂きました各労働基準監督署及び関係団体との良好な関係を継続し、コンサルタント会活動のPRに努めていきたいと思っております。神奈川支部皆様のお力添えをお願いいたします。

【県央地区】

この度県央地区のリーダーを拝命致しました萩田敦司です。どうぞよろしくお願い致します。県央地区は総勢10名で人数としては最小ですが、丹沢山塊を挟んだ小田原・厚木・相模原の監督署が所掌範囲で、面積としては広範な地域をカバーすることになります。メンバーも副支部長3名を含む経験豊富な大先輩の皆様で構成され、最も若手の私がリーダーの名の下に活動するのは大変身の引き締まる思いです。

① 全国労働安全週間・全国労働衛生週間関連

9月には全国労働衛生週間の地区推進大会が開催されますが、小田原・厚木・相模原共9月6日の同日開催となり、いきなり先輩の皆様のご協力を仰ぐ事態となってしまいました。

② 地区労働関係団体会議

厚木地区で年3回開催される労働関係団体会議にオブザーバーとして参加し、監督署はじめ関係団体との連携を図り、情報交換を行っていきます。

③ 労働基準監督署関連

年始や人事異動時の挨拶を行い、3月の安特情報の入手にも努めていく予定です。私自身経験が浅いため、久富前リーダー・藤原総務委員長はじめメンバーの皆様のご協力を仰ぎながら推進して参りますので、なお一層のご指導をよろしくお願い致します。



【湘南地区】

今年度、湘南地区のリーダーを務めさせて頂くことになりました、黒川孝です。初めて担当する会務のため、まだ良く分からないことばかりですが、サブリーダーを務めて頂く昨年度リーダーの大谷忠治会員(幹事)にご支援・ご指導を頂きながら会務を推進してまいる所存ですので、皆様、宜しくお願い致します。

さて、湘南地区は、具体的には「藤沢署」、「平塚署」及び「横須賀署」の3ヶ所の労働基準監督署及びその管轄地域の関係団体との連携、情報収集等を担当します。このうち、「藤沢署」と「平塚署」の2ヶ所につきましては、監督署主催の関係団体連絡会に弊社からも出席させて頂いているため、各署の関係団体連絡会の出席担当者である大谷忠治会員(藤沢署)及び矢島聡会員(平塚署)に各監督署及びその管轄地域の関係団体との窓口を務めて頂き、支部及び湘南地区の担当者との間で連携をとりながら活動を進めていきます。一方、関係団体連絡会に弊社からは出席させて頂いておりません「横須賀署」につきましては、内沼創一朗会員(常任幹事)に情報収集等の窓口をお願いし、支部及び湘南地区の担当者との間で連携をとりながら活動を進めていきます。

なお、湘南地区の担当者は、具体的には上記会員の他に、藤沢署を中心に活動されておいでの赤松由通会員(支部長)、秋谷泰男会員(支部監事)、萩野公彦会員、鶴田光会員及び中村幸男会員、平塚署を中心に活動されておいでの矢崎麻純会員(常任幹事)並びに横須賀署を中心に活動されておいでの佐藤保夫会員及び白須吉男会員を含めた、総勢12名となります。

湘南地区として有効な情報収集や弊会のPR等が行えるよう、関係団体連絡会の出席担当者の方々等との連携を密に、また、担当者各位の力が発揮、集結できるよう担当者間の相互認識、円滑な情報交換に配慮して活動してまいりますので、引続き、湘南地区活動へのご支援・ご協力を宜しくお願い致します。



【事業部会に入会された寺山翔氏の紹介】

【氏名】 寺山 翔(てらやま しょう) 【年齢】 42 歳

【区分】 労働安全コンサルタント(化学)

【専門事項】労働安全衛生マネジメントシステムの構築と運用、化学物質のリスクアセスメントの導入と運用、化学物質の自律的な管理ができる組織の構築、事業所の安全衛生診断とそれに基づく改善提案と実行及び評価。

【経歴】 大手総合化学メーカーにてプラントオペレーターを経験後、環境安全衛生スタッフとして勤務し、事業所の環境安全衛生管理業務全般に携わりました。ISO 認証関連業務では、3事業所のマネジメントシステムを再構築し OSHMS、EMS を統合し、運用しました。法改正に伴い、平成 28 年の化学物質のリスクアセスメントの義務化に伴い事業所内の化学物質の管理組織を構築し、教育訓練を担当しました。現在は、ミドリムシからバイオ燃料を造る会社でグループ全体の安全衛生環境管理を担当し、保安4法(高圧ガス保安法、消防法、労働安全衛生法、石油コンビナート等災害防止法)に基づく安全衛生診断、環境関連法に基づく環境管理のサポートなどを行っています。

【事業部会での抱負】

社会で様々な方に出会い影響を受け、支えられた結果、HSEを天職とし歩むことができました。経験も実力もまだまだ発展途上ではありますが、事業部会の活動に積極的に参画することで、支部に貢献し、自己成長にも繋げていきたいと思っております。



【コベルコ溶接研修会参加報告 樋口 学】

(1)化局研究会が主催した溶接研修(令和6年7月19日)

支部の研究会として化学物質の自主管理に対応すべく発足した「化局研究会」は、主に化学物質管理に関連する工場見学会やメーカーのデモ、その他勉強会を企画、実施しております。今回は、「コベルコ溶接テクノ(株)」様の研修センターを訪問し、溶接研修を行いました。同社は(株)神戸製鋼の子会社で金属材料の溶接研修、試験・解析を行う会社です。研修は通常1日のところ、半日コースをメンバーの秋谷様が交渉され、研究会以外の事業部会員の希望者にも声を掛け、全14名で実施しました。研修内容は、座学と溶接の実習を行って、溶接とはどのようなものか理解し、溶接ヒュームの作業員への影響が把握できる様にしました。

座学は、溶接技術全般として各種溶接の原理から造船への適用例までの講義と、秋谷様からは金属アーク溶接に関する各種法律についてご説明いただきました。

(2)初めての溶接体験

実習としては、比較的容易な①被覆溶接、②炭酸ガスを用いたマグ溶接(Metal Active Gas)を研修センター講師のご指導を受けながら実施し、ほとんどの方が初めて溶接を体験しました。

被覆溶接は最も簡便な溶接ですが、いざ始めてみると難しく、アークが発生するどころか溶接棒先端が溶接用金属に接触してアークがなくなり、少しも進みません。しかし、何度かトライしていると溶接棒と溶接金属の距離を一定に保てる様になり、アークが連続発生する様になりましたが、ビードが綺麗に描けず、ミミズが這った様な形になりました。



写真-1 講師の説明状況

また、溶接では火花が周辺に飛散するため、前掛け、保護メガネ、保護手袋を着用しますがかなり暑く、

参加者全員が汗だくになりながら挑戦しておりました。

次に炭酸ガスを用いた半自動マグ溶接を行いました。こちらは、溶接トーチの中心から溶接用ワイヤーを半手で供給しながら溶接していきますが、トーチの移動速度とワイヤーの出し方の調整が難しく、なかなか綺麗なビードができません。気が付くと溶接金属の端を超えて溶接を続けたため、溶接金属と溶接台を貼り付ける失敗もしてしまいました。溶接は難易度が高く、習熟にはかなりの経験が必要になりました。

また、実習後のマスクは全面が薄茶色に変色しており、わずか1時間の溶接で多量のヒュームが飛散することも経験できました。



写真-2 講師の実演状況

(3)感想

溶接は難しい技術で、職場は暑く、ヒュームも飛散する大変な作業であることを経験し、法規制(特化則の改正)の必要性も実感できました。研修でたっぷり汗をかき、さらに暑い夏の日でしたので、研修後の情報交換会はいつになく盛況でビールも随分進みました。

今後も化局研究会で様々な企画を立案し、メンバーの研鑽を進めていきたいと考えています。



写真-3 参加メンバーの集合写真
(研修センター前にて)

【令和6年度 会長功績賞受賞報告 大塚重男】

この度は会長功績賞を頂き、誠にありがとうございました。ご推薦を戴いた前支部長の吉久様と神奈川支部の皆様へ感謝申し上げます。10年前の平成26年に事業部会に入部し、諸先輩方より、ご指導を頂きながら、色々やってきました。平成27年より、顧客対応研究会のリーダーとして、機械安全、第三次産業の災害対策、化学物質管理、個人事業主の経理などの研鑽に携わったことは、貴重な経験でした。その後、安全衛生診断、安全衛生教育、また職場環境改善チームのメンバーとして公務災害防止の諸活動で処理場や浄水場等の施設見学においても新しい発見をすることができました。また、ホームページ編集チームの一員に加えて頂き、神奈川支部のホームページの運営のお手伝いをさせて頂いております。コンサルタント業務には、安全、衛生はもちろんのこと、その他幅広い情報、知識等が必要であり、今後も研鑽を続けていく所存です。引き続き、皆様のご指導、ご支援をよろしくお願いいたします。



《編集後記》

第49号の支部ニュースから、水上(リーダー、幹事)、大塚(前リーダー、委員、常任幹事)、萩田(委員、事業部会員)の3名で担当します。支部ニュースの編集を容易にするため、段組みなしの書式に変更しました。

地域巡回活動の各地区リーダーの紹介等の新企画を追加したため、紙面は12頁となっています。